

## 世界史 サンプル問題

I 次の文章を読み、下の問に答えなさい。

西ヨーロッパのルネサンス期には、イタリアの[ 1 ]が唱えた[ 2 ]のように、これまでとは大きく異なる考え方が主張された。この考え方は「大航海」を後押ししたといえるが、ヨーロッパ人の「大航海」を実際に可能にした道具のひとつに中国からもたらされ、14世紀のイタリアで改良が進んだ[ 3 ]がある。これにより、④ヨーロッパ人が遠洋に航海することが可能になった。ヨーロッパ人自身が外の世界に積極的に出かけるようになったことで、これまでとは異なる世界観が西ヨーロッパの人びとの間に広がっていった。

西ヨーロッパのキリスト教世界の中でも大きな動きがみられた。1517年、ルターは「95か条の論題」を提起し、③カトリック教会による[ 4 ]の販売に疑問を投げかけた。彼を支持するルター派勢力は[ 5 ]ともよばれ、のちにカトリック教会に対抗する人びとの総称となっていった。[ 6 ]では、予定説を説いた[ 7 ]が改革運動を指導した。彼の考え方は西ヨーロッパの商工業者らの間に広がり、そうした支持者はイングランドでは[ 8 ]、フランスでは[ 9 ]とよばれた。1555年、[ 10 ]によってカトリックとルター派との間で妥協が成立した。

問1 空欄[ 1 ]～[ 10 ]に入る語句や地名として最も適当なものを、それぞれ答えなさい。ただし、[ 1 ]、[ 7 ]には人名が入る。

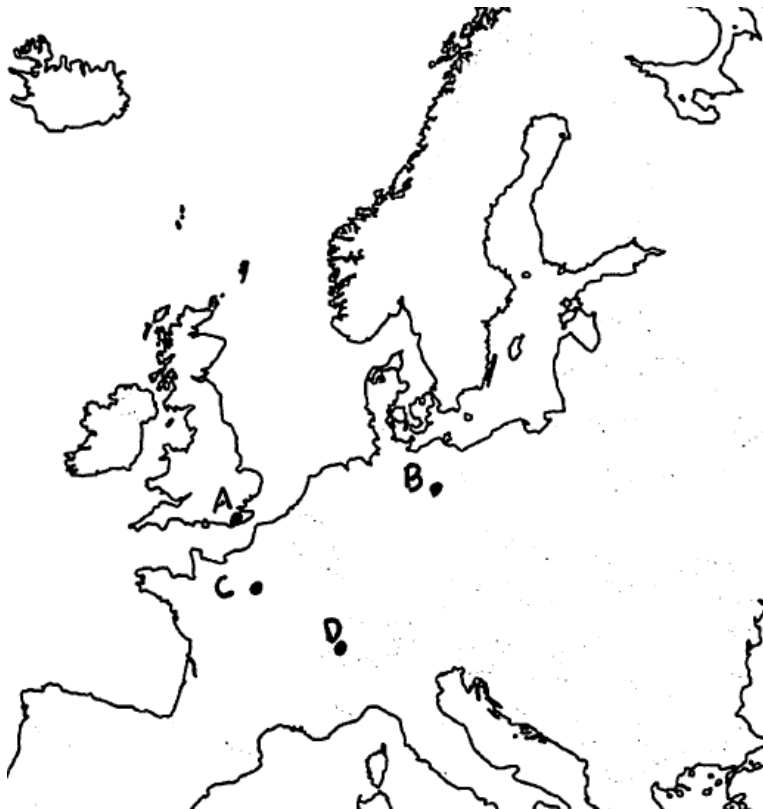
問2 下線部④に関連し、15世紀から17世紀初頭にかけての世界について述べた次の文アからエについて、以下の問1、2に答えなさい。

- ア オランダやイギリスが東インド会社を設立し、アジア貿易に乗り出した。
- イ ポルトガルが香辛料や陶磁器を取引するためのアジア貿易の拠点をマニラに置いた。
- ウ スペイン王国によって国土回復運動（レコンキスタ）が完了した。
- エ 明への朝貢を促すために、鄭和が艦隊を率いて南海に遠征した。

- 1 ア～エのなかで説明が不適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
- 2 1で答えたもの以外の選択肢を古いものから新しいものへと年代順に並べ、記号で答えなさい。

問3 下線部㊸に関連して、の発展を前にしてカトリック教会側がとった対応について、100字以内で述べなさい。

問4 次の地図を見て、以下の問に答えなさい。



- 1 ルターが奉職した大学がある都市の場所を地図中の A~D から選んで記号で答え、また、都市名を答えなさい。
- 2 の場所を地図中 A~D から選び、記号で答えなさい。

## 世界史 サンプル問題 出題意図

近代のヨーロッパが形成されるにあたって重要かつ基本的な事項とその意味を大きな歴史的な流れの中で理解しているのかを問うための問題である。

## 世界史 サンプル問題 解答例

- 問1
- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| 1. トスカネリ       | 2. 地球球体説   | 3. 羅針盤   |
| 4. 贖宥状（免罪符）    | 5. プロテスタント | 6. ジュネーヴ |
| 7. カルヴァン       | 8. ピューリタン  | 9. ユグノー  |
| 10. アウクスブルクの和議 |            |          |
- 問2
1. **イ** ※マニラはポルトガルではなくスペインの拠点
  2. **エ** → **ウ** → **ア**
- 問3
- トリエント公会議を開催してカトリック教会の体制を強化するとともに、イエズス会の修道士たちを中心に、ヨーロッパだけでなく、アジア・新大陸など海外でも積極的な布教活動に乗り出して対抗宗教改革を進めた。(95字)
- 問4
1. **B** 都市名：ヴィッテンベルク
  2. **D**